



千地申「新八柱駅の窓口閉鎖及び本千葉駅、新八柱駅、市川大野駅の第6号 駅業務委託、西船橋駅の体制強化」に関する団体交渉を行う！その②

6. インバウンド需要の増加や、東京オリンピック・パラリンピック輸送の対策のために、成田スカイアクセス線への乗換駅である東松戸駅の体制を2徹とすること

(組合) 東松戸の展望は？

(会社) 利用者が非常に増えたのは事実。しかし、**利用者が増えたから人(要員)を増やすとはならない。**

(組合) 現場から増やしてほしいという声は来ているのか？

(会社) JESSの方で対応しているという認識である。

(組合) 今後の展望はあるのか？

(会社) **インバウンドに関してはこれからも増えるという一定の認識はある。東松戸に関してのデータはない。**

(組合) 利用者が2倍になっているが見直しが必要ではないのか？

(会社) **いきなり一徹増えることはないが、柔軟に対応していく。**



東松戸駅の要員増は確認できないものの、柔軟に対応することを確認！

7. 本千葉駅、新八柱駅、市川大野駅の輸送品質・サービス品質を向上させるために、施策実施後の体制は現行どおりにすること。

(確認事項)

・施策後の体制はJESSが決めており、変わらないという認識である。新八柱駅は効率化(窓閉め)をしてから委託する。

8. 業務委託に伴い、JR本体運営時と取り扱いが変更になる業務内容に対する教育を十分に行うこと。

(確認事項)

・**人身事故の対応に関して変更になるだけで営業に関しては変更はない。**

・どの駅に駅務責任者がいるかどうかは、社報や通達で知らせている。

・新しくなった所などは、毎年一覧表を社報に載せており、指令にも一覧表がある。

9. 業務委託に伴い、ブロック内の他箇所へ助勤に行く場合は、駅ごとの特情を考慮し、本人の不安が無くなるまで教育を行うこと。

(確認事項)

・**配属されるブロックについては、JESSの判断で決める。JESSとの意見交換を行っていく。**

・訓練の内容はOJTの訓練である。連絡体制の変更については、大きく変わることは無い。

・**出向する場合はJESSの説明会に参加する。不安が無くなるまで教育を行っていく。**



10. 作業ダイヤを変更する場合は、社員の意見を反映し、ゆとりと働きがいを実感できる作業ダイヤを作成すること。

(確認事項)

・**変更は新八柱駅のみである。作業ダイヤ変更は現場の声をしっかり聞いて行っていく。新八柱駅にMV50を1台導入する。**

11. 業務委託に伴い社員の異動が発生する場合は、目的を丁寧に説明して希望を把握し、本人希望を尊重して実施すること。なお、異動に関して無理な懇請は行わないこと。また、出向はプロパー社員への教育を目的とし、出向期間は原則として3年以内とすること。

(確認事項)

・**本人希望については面談でしっかり把握していく。**

・**出向は教育的異動である。JR東労組組合員の出向期間は労働協約に則り、原則3年以内である。**

JR東労組組合員の出向期間は「労働条件に関する協約」のとおり、原則3年以内とすることを確認！

12. 業務委託をした場合、制服の採寸など個人貸与品の準備を丁寧にいき、社員のモチベーションを高めること。また、バックヤードを整備・改善し、社員が働きがいのもてる環境とすること。

(確認事項)

・スケジュールについては、**窓閉めは1カ月前を見て告知していく。年末を見ている。教育は事前通知もあるので1カ月前に行う。JESSから実習生の受け入れの話が来ており、本千葉駅へJESSから事前に教育をする。**

・バックヤードの改善については、ハウスクリーニングをしてから委託する。

13. 施策実施後に検証を行い、問題等が生じた際は労使で協議すること。

(会社) 検証を行い、組合からの具体的な提起があれば労使で協議する。

将来に希望が持てる、働きがいのある営業職場を創るために、地本は職場と共に、施策実施後も「現場の声」を発信していきます！